

陸軍

五日飛大日命第三五號

第五十飛行場大隊日命令

五月二十四日  
作正島兵舎

陸軍経枝伍長

吉田

清

一、勞務者管理事務用消耗品並燃料  
受領ノ多明ニ至ヨリ三泊四日ノ予定ヲ以テ  
第一天天九部隊並嘉午紙張遣隊ニ於テ命大

陸軍技午

平岡元雄

二、飛行場設定計畫要圖調製ノ夕人本三泊日  
ヨリ三泊四日ノ予定ヲ以テ那覇那理縣廳ニ公表  
ヲ命大

三、

陸軍一等兵

畑本忠信

嘉午紙張遣隊ヨリ到着ス  
依テ補給中隊ニ於テ  
土日三泊四日  
土日三泊五日  
尙宿泊給養ヲ  
擔任ス

五月二十五日

晴

伊江島

主力行動

出場人員

將校

一 二 准下技

四五 兵

四〇五

派遣隊

〃

六〃

一三〃

一〇九

渡久地連絡所

〃

一〃

二〃

五

一 伊江島飛行場設定作業續行ス

二 伊江村ヨリ徴傭勤勞者男女三九八名荷馬車

四四台受領ス

三 建築中隊長ヲシテ慰安所ノ新築作業ヲ

實施ス

衛

生

四〇一八〇ヨリ赤痢豫防接種第一回注射シ

月例身体検査ヲ實施ス

②勤勞者ニ對スル問診・視診ヲ實施ス

佐藤曹長以下五名ハ佐々木曹長ノ指揮ニ

軌條運搬作業ヲ援助スルト共ニ野菜ノ積

込・荷馬車ヲ引渡シ輸送ス

連絡行動五

命

令六

作為セル命令別紙ノ如シ

一五。飛大作命第四四號

四五。飛大日命第三六號

五月二十六日

出場人員 將校 一二 准下技 四五 兵 四〇 五

晴

派遣隊 〃 六 〃 一三 〃 一〇 九

伊江島

渡久地遺跡所 〃 一 〃 〃 〃 五

主力行動

一、伊江島飛行場設定作業續行ス

二、久志、今歸仁、羽地、各町村ヨリ徵傭人支

男子八九四名受領ス

三、濱田、王計中尉前渡金受領ノタメ一〇、〇〇名

護町ニ出張ス

四、河野陸軍技士西部第七部隊ニ應召ス

前日ニ引續キ一八、〇〇〇ヨリ赤痢豫防接種ニ

月例身体検査ヲ實施ス所見別紙ノ如シ

衛生

生五

第五十飛行場大隊命令

五月二十五日 伊江島 兵舎

一本二十五日伊江村徵傭勤勞者 三九八名(内

女六四名 荷馬車四四台)到着ス

二、各作業隊ニ左ノ通勤勞者ヲ配屬ス

中飛行場勤勞者 三五四名

東飛行場荷馬車 三一台

棧橋作業場荷馬車 一三台

下達法

口達後 印研交付

報告(通電)

32 A 190B 派遣隊

五日 砲火日命第三三號  
 第一 砲行場大隊日命令 五月 三十五日  
 一、本 五月 三十一日 二、直リ十八時三十分 赤痢 第一回 平隊  
 三、射ヲ 実砲ノ 依テ 本部 各隊ノ 内日 半數死ノ  
 実砲ノ 名簿ヲ 二部 作製シ 実砲日 正午迄ニ  
 務室ニ 差出ス  
 二、左ノ 通り 部隊日 道將校ニ 取務ス  
 五月 三十七日 樋渡 少尉  
 五月 三十八日 中澤 少尉  
 五月 三十九日 當倉 准尉  
 五月 三十九日 菊池 准尉  
 五月 三十一日 大久保 少尉  
 三、船 船輸送人馬 物件 費 找 処理 規 定 別 冊 通  
 リ 定ム

月例身體檢查計見

(五月二十五日) 葛貝施

報告者

古澤 軍醫少尉

一 幹部以下兵一般ノ栄養状態ハ概シテ良好ナリ

(體重計無キモ爲實質測不能ナルモ皮下脂肪筋發育頗モ充澤等ノ一般状態ヨリ判定ス)

一 胸部疾患及疑

事實ナシ

一 急性傳染病及疑

事實ナシ

一 疝病患者

事實ナシ

一 患者状況

岩崎隊初生 靜雄 年次五月二十四日 左鎖骨骨折ニテ休業ノ外特

記スベキ患者ナシ

右ノ如ク月例身體検査所見ハ概シテ良好ナルモ左記細部事項ニ關シテハ尚層ノ徹底ヲ期セラレ度

左記

一 目下胸部疾患ノ發生ヲ見ザルモ動脈硬化ノ發見ナシ

業前、準備運動、作業終了後、終末運動ハ確實ニ勵行セラレ度  
 目下腸管系傳染病、發症ラ見ザルモ向後、三四ヶ月間ハ好發生ナ  
 期ナルニ鑑ミ、生水飲用、嚴禁、湯茶補給、潤澤、天水通、清淨  
 化ラ期セラレ度  
 原口隊ノ兵ニシテ数名「ロム」ニシテ無斷攝食セシ者アリ幹部ノ監  
 督指導ナラ層嚴ニセラレ度  
 一暗荒通信機、事故宜勤務ノ兵ハ一般ニ日光浴不足ナリ  
 務メテ屋外進出ラ劃シ保健康體操ヲ實施セラレ度  
 一皮膚病、保青ハ一般ニ良好ナラス「トモシ、いんさん、濕疹」ヲ發生セル  
 モノ十数名アリ又ハ、伸ビタル者若干アリ  
 入浴ノ勵行ラ期シ適切ナル衛生指導ナラザルム

陸軍中野師團

陸軍

|        |                                                                 |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| 連隊所行動  | 六、玉置准尉ハ糧秣集收ノ多金武村ニ出張ス<br>佐藤曹長以下四名ハ微痛人吏ノ受領迄ニ輸<br>送、飛行場設定器材ノ運搬ヲ實施ス |
| 命令     | 命七、<br>一、五〇。飛大作命第四五號<br>二、五〇。飛大日命第三七號                           |
| 五月二十七日 | 出場人員 將校 一 准下技 四五 兵 四〇 五                                         |
| 晴、豪雨   | 氷遣隊 " 六 " 一三 " 一〇 九                                             |
| 伊江島    | 渡久地連絡所 " " 一 " 二 " 五                                            |
| 主力行動   | 一、〇六〇〇—一、二〇〇〇間飛行場設定作業ヲ<br>實施ス                                   |
|        | 二、本部大宜味各村ヨリ微痛人吏男子七〇七<br>名受領ス                                    |

三。全員休務ヲ實施ス。特授以下伊江村ニ外出ス。

連所行動

四。玉置准尉 久志村ニ野菜集收多ク出發

佐藤曹長次下五名ハ徵傭人丈六九八名ヲ

發動艇四隻ニ便乗セシメ伊江島ニ輸送ス

勤勞帶勞者ニ對スル問診並ニ視診ヲ實施ス

衛生命令

五。勤勞帶勞者ニ對スル問診並ニ視診ヲ實施ス

六。作為セル命令 雜別紙ノ如シ

四。五。飛大命令第四六號

三。五。飛大命令第三九號

二。五。飛大命令第一二號

一。五。飛大命令第一二號

五月三日 伊江島 渡久地連絡所 一。二。准下枝 四五 兵 四。五

五。飛大命令第四五號

第五十飛行場大隊命令

五月二十六日 一。三。〇。伊江島 兵 舍

一。本二十六日 久志 一。四。名(青訓五六名) 今歸仁 三九

八名(青訓一四。含) 羽地 三五六名(青訓二五含)

各町村ヨリ徵傭勤勞者男子合計八九四名

到着ス

二。東飛行場作業隊ニ前項徵傭勤勞者ヲ配

屬ス

下達法 口達後 印刷 交付

報告通志 32A 190B 派遣隊

五日飛大日命第廿七號

第廿七號行場大隊百五命令

五日午三時  
伊弉島兵舎

一 朔廿七日十二時以降休務ヲ實施ス

依テ勤務ニ支障ナキモハ夕食時限迄伊弉島村

外ニ出テ許可ス

二 勞務者ハ作業隊長ニ於テ十二時以降通宜休

務班ニ伴江島村ニ外出ヲセムルニテ得

三 陸軍主計中尉

濱田 早夫

前渡屋後領ノ久本早夫ヨリ一泊二日ノ予定ス

テ名護所ニ出張ヲ命ズ



四

陸軍技手

月賀勝美

球第三五部隊本部附ヲ命ズ (五月三二日附)

依テ明ニ七日ハ發速クニ本隊ニ到着スベシ

五

陸軍技手

河野通

西部第十八部隊ニ應召ノタメ明ニ七日ハ發速クニ本籍地鹿兒嶋市ニ歸還ヲ命ズ

五〇飛大作命第四六號

第五十飛行場大隊命令

五月二十七日  
伊江島兵舎

一本二十七日本部五二八名(指導員一青訓一七七名)

大宜味一七九名(青訓六四名)各町村ヨリ徴

傭勤勞者男子合計七〇七名到著ス

二前項徴傭勤勞者ヲ東飛行場作業隊

ニ配屬ス

下達法

口達後印刷交付

報告通先

32A 190B 派遣隊

陸軍省

陸軍省

下等

陸軍省

一等

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

八一〇。伊江島出發ス(濱田中尉平野少尉王置准尉隨行ス)

三 金武、東、思納、各町村ヨリ徵傭人夫男子

四九三名受領ス

連絡所行動

四 佐藤曹長以下三名ハ徵傭人夫ヲ受領(渡久地國民學校)舟艇五隻ヲ以テ伊江島ニ輸送

スルト共ニ殘餘人員ヲ以テ飛行場設定器材

運搬輸送ヲ實施ス

五 前日ニ同ジ勤勞者ノ問診並視診ヲ實施ス

衛生

命令

六 作為セル命令別紙ノ如シ

山五。艦大作命第四七號

山五。艦大日命第四〇號

五月十九日

出場人員

將校 三 准下技 四五 兵

四〇五